

白浜町 議会だより

No.36

平成27年(2015)5月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



ピカピカの新1年生(町内小中学校入学式)

CONTENTS

| | |
|---------------------|---------|
| ■ 平成27年第1回定例会等 | P. 2~4 |
| ■ 一般質問(平成27年第1回定例会) | P. 5~13 |
| ■ 討論のあった議案について | P. 14 |
| ■ 議会からのお知らせ | P. 15 |
| ■ 町議会・町議会議員の主な動き | P. 16 |

平成27年第1回定例会

3月2日～20日

平成27年度当初予算を可決

白浜町議会平成27年第1回（3月）定例会は、3月2日招集、19日間の会期で開催しました。

当局から提案された案件は、条例改正等20件、一般会計、特別会計補正予算5件、平成27年度当初予算12件、報告2件、その他の案件11件、また、議会提出案件は2件で、それらすべてについて可決承認しました。

定例会4日目には、議案第13号、第15号、第18号、第21号について反対討論がありましたが、採決の結果、賛成多数により可決しました。

また定例会5日目には平成27年度当初予算について、予算審査特別委員会の審査結果報告を受けた後に、議案第38号について反対討論がありましたが、採決の結果、賛成多数により可決しました。（詳細については14ページをご覧ください。）

定例会2日目から3日目には一般質問が行われ、9議員が登壇し、町長及び教育長に質問をしました。

平成27年度予算

○一般会計予算

予算総額

127億9千100万円

主な事業等の概要は次のとおりです。

（単位 万円未満四捨五入）

【総務費】

・地域振興基金積立金

1億1千470万円

・国体推進事業

2億6千617万円

【民生費】

・重度心身障害児（者）医療扶助費

5千578万円

・臨時福祉給付金事業

4千245万円

・子ども医療扶助費

5千578万円

【消防費】

・消防救急無線デジタル化事業

1億7千594万円

【教育費】

・白浜第二小学校耐震化事業

2億2千257万円

・白浜第一小学校建設事業

12億2千501万円

□条例改正等

○白浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町行政手続条例の一部を改正する条例

行政手続法の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例

給与月額を改定するための関係規定の改正

○白浜町各種基金条例の一部を改正する条例

庁舎整備基金の名称及び目的を改めるための改正

○白浜町報酬及び費用弁償等条例等の一部を改正する条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町教職員住宅管理条例の

一部を改正する条例

市江教員住宅の老朽化による廃止に伴う関係規定の改正

○白浜町学童保育所設置条例の一部を改正する条例

児童福祉法の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う教育長の職務に専念する義務の特例に関する関係規定の制定

○白浜町立幼稚園条例及び白浜町立保育園条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の制定に伴う関係規定の改正

○白浜町保育園保育の実施に関する条例を廃止する条例

児童福祉法の一部改正に伴う廃止

○白浜町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令の一部改正

に伴う関係規定の改正

○白浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び白浜町指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

介護保険法の一部改正に伴う関係規定の制定

○白浜町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定

介護保険法の一部改正に伴う関係規定の制定

○白浜町ひとり親家庭医療費の

支給に関する条例の一部を改正する条例

児童扶養手当法施行令の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町公衆便所条例の一部を改正する条例

新設した施設を追加し、移転した施設の位置を変更し、併せて一部施設の名称変更に伴う関係規定の改正

○白浜町白浜駅前駐車場条例の制定

白浜町白浜駅前駐車場の設置及び管理に関する関係規定の制定

○白浜町下水道条例の一部を改正する条例

下水道法施行令の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町火災予防条例の一部を改正する条例

消防法施行令の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町特定用途制限地域内における建築物等の用途の制限に関する条例の制定

特定用途制限地域内における建築物等の用途の制限を行うための関係規定の制定

□補正予算

○平成26年度白浜町一般会計補正予算(第9号)

既定の歳入歳出予算の総額に1億3千647万2千円を減額し、歳入歳出予算総額を127億4千338万3千円

主な補正内容は次のとおりです。(単位 万円未満四捨五入)

【総務費】

・ふるさと白浜応援基金積立金 650万円

【民生費】

・児童手当 △1千700万円

【衛生費】

・公立紀南病院組合負担金 530万円

【農林水産業費】

・青年就農給付金 713万円

・綱不知漁港基本事業計画作成委託料 △318万円

・海岸保全施設整備工事費

△500万円

【土木費】

・下水道事業特別会計操出金

△105万円

・急傾斜崩壊対策費負担金

215万円

【教育費】

・白浜第一小学校建設事業費

△1億2千52万円

【災害復旧費】

・漁港施設災害復旧工事費

△836万円

○平成26年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

既定の歳入歳出予算の総額に146万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を34億4千683万9千円

○平成26年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

繰越明許費を470万円

○平成26年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

既定の歳入歳出予算の総額に649万8千円を追加し、歳入歳出予算総額を

8億5千541万4千円

国の地方創生の交付金(地域住民生活等緊急支援のための交付金) 関連補正予算

○平成26年度白浜町一般会計補正予算(第10号)

既定の歳入歳出予算の総額に1億円を追加し、歳入歳出予算総額を128億4千338万3千円。主な補正内容は次のとおりです。(単位 万円未満四捨五入)

【総務費】

・総合戦略策定事業

900万円

【民生費】

・安心生活基盤構築事業

1千万円

・子ども医療費助成事業

820万円

【観光費】

・体験型観光強化事業

900万円

・白浜町観光ビジョン策定事業

600万円

・旅行エージェントタイアップ事業

2千550万円

・白浜地場海産品等販売促進事業

300万円

・プレミアム商品券発行補助事業

1千450万円

□工事請負契約

○白浜第一小学校建設等工事

【契約金額】

10億7千298万円

【契約の相手】

喜多・テンコー特定建設工事

共同企業体

和歌山県西牟婁郡白浜町

1065番地の10

代表者

株式会社喜多工務店

代表取締役 北 裕喜彦

□白浜町教育委員会委員の任命について

次の方を同意しました。

(敬称略)

・尾崎 恵(田野井)

□白浜町固定資産評価審査委員会委員の選任について

次の方を同意しました。

(順不同・敬称略)

・日高 明宏(白浜)
・堅田 紀代美(堅田)
・三角 孝(矢田)

平成27年第1回臨時会

白浜町議会平成27年第1回(1月)臨時会は、1月21日招集、1日間の会期で開催しました。

当局から提案された案件は、一般会計補正予算1件、その他の議案2件、報告1件で、また、議会提出案件は1件で、それらすべてについて可決承認しました。

□補正予算

○平成26年度白浜町一般会計補正予算(第8号)

既定の歳入歳出予算の総額から1千895万円を減額し、歳入歳出予算総額を128億7千985万5千円

補正内容は次のとおりです。(単位 万円未満四捨五入)

【教育費】

・小学校費

△1千895万円

平成27年第1回定例会一般質問（登壇順）



くすもと たかのり
楠本 隆典 議員
(一問一答)

・ 行政課題 ・ 財政計画



(中地区官有地)

問 中地区官有地払い下げについて、平成25年6月の議案第52号で可決され、その翌日陳情書が提出された。その中身について問う。また、当初購入希望者全員の陳情書であるのか。町の鑑定価格について現在も変更はないのか。今後の交渉の進め方について当局の見解を求める。

答 あくまでも払い下げによる解決をめざしており、そのためには地元関係者の皆様のご理解が必要となるので、その解決に向けて

の方向性を見出すべく、もうしばらくお時間をいただきたい。

問 水道事業は安定供給をすることが大切であるが、災害に備えた耐震対策、ループ化について問う。また相当な設備投資が必要であるが、水道料金の値上げに対する当局の見解を求める。

答 巨大地震を想定した耐震管対策等が急務である。ループ化はしていない。今後、施設整備を進めるうえで料金の値上げは避けては通れない状況である。

問 水道料金の未収金問題は決算審査特別委員会でも問題となったが、その後の取り組みについて当局の見解を求める。

答 最優先課題と受け止め、今後、設置する債権回収推進室の各種研修会への

参加や、先進地の取り組みの手法を学び、今後も職員一丸となって取り組む。



(オレンジランド配水場)

問 財政計画について起債の今後の見通し、起債のピーク、償還金の見通しについて伺う。また、町財政が厳しいなか、財政調整基金の残高と基金の管理運用について当局の見解を求める。

答 公債費は平成31年度から33年度にピークを迎え、また、財政調整基金の平成25年度末残高は約18億9千800万円定期預金や国債により運用を行っている。

問 今後の大型事業について、本庁舎の積立金、図書館建て替え、南海トラフ巨大地震の津波対策、デジタル化の防災対策長期総合計画の残事業について当局の見解を求める。

答 新庁舎建設にむけた基金積み立てや防災行政無線デジタル化に関する経費についても計上を行っており、引き続き「輝きと安らぎと交流のまち白浜」の実現に向け取り組む。

問 地域住民生活等緊急支援交付金について白浜版総合戦略プランに町長の政策をどう反映するのか当局の見解を求める。

答 それぞれの地域で住みよい環境を確保するためにも、白浜ならではのオリジナルな施策をより多く、計画に盛り込みたいと考えている。

- ・日置大橋歩道橋について
- ・駅の利便性の向上について
- ・日置川地域の体験交流型観光について



辻 成紀 議員
(一問一答)

問 住民の皆さんが安心して渡れる歩道橋工事について、早急に実現できないか。

答 補正予算で2億8千500万円が付き、橋台2基、橋脚2基が施工され、引き続き上部工へと進んでいく。1日でも早く歩道橋が完成できるように国、県に要望している。

問 漁業組合の施工同意はいかがか。旧大橋の解体、撤去の工事完成に向けて、県へ再度要望していただきたいかがか。

答 漁業組合へは事前に工事概要の説明をして、着工の際には濁水対策について、再度協議することになっている。また、旧大橋の撤去は早急に行ってほしいと県へ要望している。

問 観光地白浜の玄関口である白浜駅のバリアフリー

化、具体的に白浜駅におけるエレベーターの設置の必要性についていかがか。

答 高齢化社会を迎え、JRを利用される高齢者等の割合は大きくなるものと考えている。こうしたことから、訪れるすべての人が不自由なく利用できる白浜駅とする必要があると考えている。

問 日置駅前駐輪場について

では、現在通勤、通学に利用されている。白浜駅前駐輪場の工事と併せて日置駅前駐輪場の整備を実施していただきたいかがか。

答 今後、白浜駅前駐輪場整備事業を実施する際に、併せて日置駅前駐輪場についても整備を行っていききたい。

問 南紀州交流公社設立10周年を迎え、多くの課題があるなかで、日置川地域の

活性化と地域振興に対する町の支援をどう考えるのか。

答 町としても国や県の交付金や補助金等を模索しながら、できるだけ支援をしていきたいと考えている。日置川地域の今後の発展のためにも行政の支援は金銭面だけではなく、いろいろな視点から必要であると考えている。



(現在通行止めの旧日置大橋)



(現在の日置駅前駐輪場)



ふるく ぼ けいぞう
古久保 恵三 議員
(一問一答)

・白良浜の観光と環境について ・水道使用料未収金回収に向けた その後の対応について

問 白良浜周辺の町河川として堀の川、小谷川、寺谷川の3河川が白良浜につながっていると思うが、公共下水道に接続していない汚水が流れ込んでいます。生活排水の流末処理の出口放流水質検査と調査は十分にされているのか。また、白良浜の水質汚染に悪影響は与えていないか。

答 河川や海域の水質状態を把握するため、毎年9月ごろに水質検査を実施しているが基準には適合している。白良浜への影響を少なくするためには、公共下水道へのつなぎ込みを促進し、海域への汚濁負荷を削減することが重要である。

問 現在の白良浜は以前より問題であった黒色化がかなり進んでいる。浜には細かい石ころもたいへん目立つようになっている。白良浜両サイドには浜の砂が堆

積している。特に権現崎側には小規模の砂浜が何力所かできていますが、その海浜移動の原因調査と今後の対策についてはいかがか。

答 白良浜海浜移動調査は3月末までに報告される。問題の調査だけで終わらず、今後は対策工法の検



(黒色が進む白良浜)



(海浜移動による砂浜)

討、実施に向け、県と連携を図って取り組んでいく。

問 白良浜の水質化対策は下水道のつなぎ込み強化を含めて、ぜひ実施していただきたいが今後の対応はいかがか。

答 下水道の放流水については、水質汚濁防止法に適合している。現在の接続率は約7割であるが、白良浜周辺の水質保全のため、さらなる接続率の向上に努める。

問 白良浜の真ん中で波が立ち、遊泳禁止が年間何回か発生すると聞くが、遊泳者の安全を守る対策は具体的に考えているか。

答 県からは平成27年度より対策工法の検討と、町や地元の見解を聞き、白良浜の環境保全の整備を推進したいと聞いており、町も安心・安全な環境整備に取り

組んでいく。

問 夏の白良浜海水浴場でのタバコの吸殻のポイ捨て、花火、入れ墨、キャンプレントの持ち込み等全面禁止はできないものか。

答 観光地であるが故に賛否の意見が分かれている。関係者の方々と協議させていただき、より良い白良浜になるよう努めていきたい。

問 12月議会で指摘した水道使用料大口滞納者に対する当局と交わされた確認書での納付計画は正しく履行されているのか。平成27年2月現在までの納付状況の経過報告と納付済額を問う。

答 個別案件の詳細は控えさせていたが、継続的な納付交渉により、平成27年2月現在までの滞納分について、遅延なく納付計画の金額どおり納付している。



まるもと やすたか
丸本 安高 議員
(一問一答)

・町職員の労働条件について ・道路の危険箇所への改修、点検について

問 昨年からの臨時職員の年休については制度化されたとはいえ、それ以前に採用された職員については年休が加算されていない。平成26年7月に総務省から臨時職員の任用等についての通知が届いている。通知のなかには年次有給休暇の付与にかかる継続勤務の要件については「勤務の実態に即して判断すべきものである」とある。期間の定めのある労働契約を反復して短期労働者を使用する場合、各労働契約期間の終期と始期の間に短期日の間隔を置いているとしても継続勤務が中断されるものでない」と再度の任用を行う場合の適切な対応に留意すべきであると書かれている。任用した日から年休の起算をすべきではないか。

答 臨時・非常勤職員の勤務条件については、地方公務員には労働基準法が原則

適用されるので、法の改正内容やその趣旨を踏まえたうえで、地方公務員法の改正、国の臨時・非常勤職員の制度やその改正内容、周辺市町の動向、地方公務員の臨時・非常勤職員の運営に関する判例や附帯意見等も考慮しながら、制度の見直しを行っているところであり、年次有給休暇だけでなく、総務省通知にある人事院が定める休暇制度についても平行して見直しを進めており、無休の休暇は新年度から制度化し、有給の休暇についても制度化に向けて検討を行っているところである。

問 昨年5月、県道日置川大塔線安居地区県道敷から用水路へ女性が転落する事故が起きた。現場周辺は過去にも何度か転落事故が起きており危険箇所である。事故後、安居消防車庫から上流にガードレールが設置

されたが、まだ約200メートルにわたり危険箇所が放置されている。県に対して設置要望すべきではないか。

答 今回、転落事故があった箇所はすでにガードレールが設置されており、県からは残りの箇所について

も年次計画により平成27年度もガードレールが設置されると聞いている。残りの200メートル区間は1年で完成するか、2年で完成するかは平成27年度の予算配分により決定される。町からは県に対し、早期完了の要望は行っている。



(安居の県道敷危険箇所)



みくら けんじ 議員
二倉 健嗣
(一問一答)

・住居表示について

問 平成22年9月の定例会

で質問し、当時の水本前町長からはあまり良い返事はいただけなかった。平成25年12月議会で再度質問した。昨年6月にも観光面から住居表示もしくは住所地の表示方法について見直しをと質問した。平成18年の町合併以前には正木司良前議員がこの問題について質問したと聞いているところである。私の以前の質問の答弁で「町行政として仕事を進めていくうえにおいても不便である」と答弁されている。この答弁は2回にわたり同じことを答弁された。また、「事業実施に向けてはもう少し検討なり、そういう時間をいただければと考えるところである」と答弁された。当局からは、住居表示の事業を実施する旨の答弁はいただいていないが、当局の答弁、地域住民の不便性からして、この事業は早急に着手し実施すべきで

あると思うかがか。

答 現時点では、具体的な

取り組みはできていないが、わかりやすい住居表示は、観光業にも関連する「おもてなし」のひとつではないかと感じている。国体や学校施設の耐震化等、喫緊に対応しなければならぬ継続中の事業や予定事業も数多くあるが、今後、財政状況も踏まえながら、ほかの事業も含めその緊急性や費用対効果等を十分考慮し、また他市町村の取り組みを参考にしながら検討を進めていきたい。

問 田辺市では昭和52年か

ら実施し、「面積が約9・04平方キロメートルあり、完了まであと2年から3年要し、着手から完了まで42年から43年を要するときいている。白浜町の対象面積は約8・26平方キロメートルで戸数は3千戸あると

聞いているので、田辺市の事業消化量を白浜町と同じ数量として事業年数を算出すると今後37年を要することになる。来年度に着手しても事業完了は平成65年となる。早急な取り組みと実施を行うべきではないか。

答 住民サービスや観光サ

ービスの向上をさせるうえで、大きな課題のひとつであるということは、十分認識をしているところである。

誰もがわかる所在地の表示がされているということからは、より質の高い住民サービスを提供するうえでも必要であり、特に、年間を通じて多くの観光客が訪れる白浜町にとつては、観光客に対するサービスのひとつでもあると感じている。どのような形で進めいくことが最も効率的なのか、近隣市町の取り組みも参考にしながら研究していきたい。



(大浦地区の一部に係る町備付地番配例図)



(瓜切 2927 番の土地の枝地番に係る地番図)

- ・ 新たな名所づくりについて
- ・ 防災について
- ・ 白浜町有財産の活用について



たまき はじめ
玉置 一 議員
(一問一答)

問 新しい名所づくりはその地域を活性化させる。町内で新名所となり得る場所を発掘し発信すれば、白浜町の活性化につながる。その一番手が中浜である。古くは菱垣廻船で栄え、豪商大津屋大次郎を輩出し、金



(250年前の海上輸送の拠点となっていた歴史ある中浜)

刀比羅宮をまつり、船で金刀比羅参拝を行ってきた歴史がある。10月には高速道路のインターチェンジが直近にできる立地であり、この好機を逸さず、白浜町を発信するため駐車場やトイレを充実させ、景勝地とし

て売り出す取り組みを行うてはどうか。

答 新たな観光資源の活用には、地域の盛り上がりが必要である。現在、地域素材の観光資源化に向け、地域の方々と連携した取り組みをしている。一定の方向性が見えてきた段階で、課題を整理して進めていきたい。

問 昨年行われた白浜空港を中心とした防災訓練で改めて空港の重要性を確認した。県は今後、空港に防災機能を充実させていくと思われる。これを好機に旧空港跡地や周辺地のあり方、構想を考えてはどうか。

答 昨年の県津波災害対応実戦訓練でも旧空港跡地が紀南地方の防災拠点であることを改めて示したものと考えている。防災拠点の機能を確保しながら、平時、有事のあり方を具体化さ

せ、全体的な方向性を示すことができるよう取り組んでいきたい。

問 町有財産の価値を検討し、所有する土地の活用、貸付を考慮してはどうか。

答 町有財産については、その価値の見直し、活用方法等を今後も引き続き検討していきたい。

問 町所有の土地の売却や運営する商業物件の賃借等、より収益の高い方法を探ってはどうか。

答 町有地の売却については、土地を貸し付けて賃貸収入を得るほうがよいのか、売却したほうがよいのか、どちらが町にとって有利なのか、有益なのかということを今後も引き続き検討し取り組んでいきたい。



みぞぐち こうたろう 議員
溝口 耕太郎 (一問一答)

・子育て支援について ・富田中学校体育館建設について

問 当町には4校の中学校があるが、校舎そのものに著しい欠陥がある中学校はあるか。

答 中学校施設で、校舎そのものに著しい欠陥のある学校はない。

問 校舎以外になくてはならない施設といえば体育館等の施設が思い浮かぶが、教育委員会として4校の中学校の体育館等の状態は把握しているか。私は富田中学校の体育館等の施設はあまりにもひどすぎると考える。体育館等の施設を建て替えるべきであると考え、教育委員会としてどのような見通しや計画を持っているのか。

答 教育委員会では、学校施設の耐震化について喫緊の課題として取り組んでいる。富田中学校の体育館を含め、白浜町学校施設耐震

化推進計画の期間内に耐震化できない施設については優先順位を付けて、財政面では町当局と協議しながら、平成27年度中に計画の見直しを行い、できるだけ早い時期に実施したいと考えている。

問 富田中学校の体育館は災害時においては避難場所に指定をされている。この点についても教育委員会は把握をしているのか。

答 白浜町地域防災計画において、避難場所としてしていることは把握している。

問 体育館に隣接している施設もたいへん古くなっている状態を見ると、この際に全体を建て替えるべきではないか。

答 富田中学校の体育館は、老朽化が進んでおり、近い将来、対応が必要であ

ると考えている。教育委員会の検討結果も踏まえ、改築を視野に入れて有利な補助金や起債等を考慮し、ほかの事業との調整を図りな

がら、財政計画を立てて取り組んでいきたい。また、総合的に教育施設の充実を図りたい。



(老朽化が進んでいる富田中学校体育館)



議員
久美子 水上 (一問一答)

・ 経済対策と消費喚起施策について

・ 子育て支援

問 国の緊急経済対策交付税を生活者、事業者支援に對してどのような消費喚起、経済対策が打ち出せるか。

答 交付金の対象は、消費喚起策や生活支援策であり、プレミアム商品券や名物商品券、旅行券等が国からメニューとして示されている。

問 プレミアム商品券は町内消費による事業所支援につながる。緊急経済対策に予算額やプレミアム率の引き上げの一考はいかがか。

答 プレミアム率についても効果が出るような内容とした。

問 高速道路のさらなる割引案は物流コストの削減や観光動態の高揚等の効果としてはいかがか。白浜インターを活用した地域振興の方策はできているのか。

答 高速道路利用者の移動ルートや、移動車台数の調査を踏まえ、地域振興となる観光・防災の拠点施設等を統合した活性化策の検討を行いたい。

問 これまで町の経済対策の検証と成果はどうであったか。

答 これまでも国の交付金事業を活用し、必要に応じて補正予算を編成しながら緊急経済対策に取り組んできており、さまざまな形で地域に波及されたのではないかと考えている。

問 川崎市の痛ましい事件は子どものSOSが大人に届かなかつたことが悔やまれる。児童生徒の様子、加えてSOSはないか伺う。不登校等早期発見と対処にどうつなげるのか。心理テラスト導入の考えはないか。

答 いじめに類する行為はあるが、さまざまな角度から子どもたちの状況をいち早く察知して、迅速に対応を進めているので、心理テストの導入は考えていない。

問 子どものネット機器保有率や利用調査はできているか。ネット被害に子どもたちが巻き込まれてはいないか。

答 各校とも生活調査等のなかにネット機器関係の項目を設けているので、自校の実態は把握している。また、ネット被害の報告は受けていない。



(身近になったネット環境)

問 提言した子ども医療費助成中学生までの引き上げ、子育て支援としての重要課題、施策と答弁した課題解決にどんな協議がなされたのか。

答 地方版総合戦略を策定していくなかで、少子化対策はたいへん重要な課題であるので、今後、財政状況を見極めつつ、子ども医療費助成の中学生までの引き上げに取り組んでいきたい。

※このほか、水上議員は学童保育、生活環境整備やエネルギーコスト、住宅市場活性化策には定住促進を見据えた思い切った提案を求め、インバウンド施策等についても質問しました。



ひろはた としお 議員
廣畑 敏雄
(一問一答)

・ 自衛隊ヘリ訓練の情報公開を ・ 富田幼稚園跡地にテニスコートを



(引き揚げられる自衛隊ヘリ)

問 去る2月に自衛隊ヘリが鴨居沖に不時着水した。エンジン1基を止めての危険な訓練であったが、原因や状況について説明があったか。

答 この訓練は離着陸訓練であり、エンジン1基の出力を絞ることで、緊急操作の訓練を行っていたということを知っている。事故原因については、調査中ということであった。

問 消防も出動して情報がないなか、苦勞したようだがどのような対応をしたのか。

答 119番通報を受け、現場へ出動したが、搭乗員

2人はすでに岩場へ泳ぎ着き、大きなけがもなかったため、水難救助及び潜水活動はなかった。

問 県防災航空隊ヘリは緊急時の訓練もしているが、このような危険な訓練はしていない。民間空港で軍事訓練をする必要はない。また、訓練をするとしても自治体に事前に知らせるべきであると考えるが、町として危険な訓練をやめるよう申し入れをされてはいかがか。

答 危険が伴う訓練なのかは、論が分かれるところであるが、県は、「自衛隊からは、訓練は自衛隊の駐屯地でも実施しているが、南紀白浜空港は、防災上重要な空港であるため訓練を実施している。訓練実施の際には、市街地上空の飛行を極力避けるとともに、エンジンの出力を落とす訓練は海上で実施していると聞いて

ている」との見解で、危険なところをあえて避けることは当然であり、町としても、今回は、海上での訓練であったと認識している。

また、通常、この訓練は県に対して報告義務はなく、報告を受けていなかった。今後は、このような訓練をする場合は報告していただくよう要請していくとの県の見解であり、町としても連携していかなければならないと考えている。

問 富田幼稚園の跡地は建物があるまま。草が生い茂っている。この活用についていかがお考えか。

答 図書館基本構想のなかで、新図書館の立地条件は多くの町民が利用しやすい場所等としていることから、図書館建設候補地のひとつとして考えている。

は部員も多く、コートが少なくなりたいへん困難な状況である。幼稚園跡地の園庭の整備等に対応できないか。

答 老朽化している園舎が残っている状態では災害時等に危険であるため、生徒の安全確保を優先し、まずは園舎の解体撤去を行ったうえで整備をする必要がある。

問 今年は国体開催の年で理念に基づいたスポーツの振興と文化の発展の実践として、向上心あふれる中学生たちを支援するため、近場のテニスコート整備をしてはいかがか。

答 クラブ活動は学校教育の一環であり、その環境を整備することは重要な課題である。しかし、安全対策については、万全の対応を図る必要があり、良好な教育環境を確保できるよう検討したい。

問 富田中学校のテニス部

討論のあった議案について

当局から提案された議案第13号「白浜町職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について」、議案第15号「白浜町報酬及び費用弁償等条例等の一部を改正する条例について」、議案第18号「白浜町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について」、議案第21号「白浜町介護保険条例の一部を改正する条例」、また、議案第38号「白浜町介護保険特別会計予算議定について」の5議案について質疑、討論を行い、採決の結果、どれも賛成多数により可決しました。

審議における討論については以下のとおりで、採決の結果については下表のとおりです。

議案第13号

反対討論要約（廣畑議員）

人事院は「官」の賃金引き下げを行ってきた結果、今日まで公務労働者をはじめ、民間にも賃金引き下げや非正規化等が進み、貧困と格差の拡大となってきた。これ以上の引き下げは職員の生活、地域消費にとってマイナスであるため、この条例案に反対する。

議案第15号

反対討論要約（丸本議員）

地方教育法改定で教育長と教育委員長を一本化した新教育長が設置されることになれば、教育委員会の指揮監督権がなくなる。この改正案は教育委員会の政治からの独立性を奪うことになる。国や首長が教育に介入する足がかりになり、教育委員会を弱体化させると考えられるので賛成は致しかねる。

議案第18号

反対討論要約（丸本議員）

地方教育行政法改正に伴う条例の制定であり、教育委員会のトップに首長が任命する

新教育長が座ることにより、教育行政への政治権力の介入が懸念されるので反対する。

議案第21号

反対討論（廣畑議員）

年金支給の削減消費税の増税のもと、保険料の値上げに對して、これ以上の負担増は認められないなかで、要支援1、2の軽度者への切り捨てを容認していくことは認められない。軽度の人々を基本的に実体のない介護ボランティア等へ丸投げをしていく乱暴なやり方であるため反対する。

議案第38号

反対討論（廣畑議員）

軽度の認定者に対する介護保険除外し、サービスを切り捨て、地域ボランティアに代替できるのか疑問である。事業所の介護報酬の削減、1号被保険者の保険料の値上げも消費税増税、年金削減のもと、高齢者にさらなる負担を強いるものである。町民の介護保険利用の抑制をねらっているのは明らかで、国の社会保障の削減に基づいた露払いとも言ふべき予算案には反対する。

| 議案内容 | 議決結果 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|-------|------|-----|------|----|------|-------|------|------|------|-------|-----|-----|------|
| | | 溝口耕太郎 | 三倉健嗣 | 辻成紀 | 岡谷裕計 | 堀匠 | 長野莊一 | 水上久美子 | 楠本隆典 | 西尾智朗 | 廣畑敏雄 | 古久保恵三 | 南勝弥 | 玉置一 | 丸本安高 |
| 議案第13号 白浜町職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について | 可決 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |
| 議案第15号 白浜町報酬及び費用弁償等条例等の一部を改正する条例について | 可決 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |
| 議案第18号 白浜町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |
| 議案第21号 白浜町介護保険条例の一部を改正する条例について | 可決 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |
| 議案第38号 平成27年度白浜町介護保険特別会計予算議定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |

※議長（岡谷 裕計）は採決に加わりません。

議会からのお知らせ

議会の開催について町民に広く知ってもらうため、防災行政無線放送により定例会・臨時会の開催をお知らせすることになりました。

放送予定は定例会・臨時会開催の3日前（3日前が土日祝の場合はその直前の平日）に会期について放送します。

◇定例会とは

議会は一年中開催しているわけではなく、定期的で開催します。この定期的で開催する会議を「定例会」と呼びます。白浜町議会は条例に基づき、3月、6月、9月、12月の年4回、開催します。

◇臨時会とは

定例会以外に必要なときに特定の事件に限り、これを告示し、その事件を審議するために臨時招集される会議です。

議会の傍聴に お越しく下さい

次回の6月定例会は

6月2日（火）～

開催予定です。

傍聴については事前申し込みの必要はなく、誰でも傍聴できますのでお気軽にお越しください。

議会だよりで、次回定例会の開催予定をお知らせします。

開催予定ですので、日程等については定例会前に白浜町のホームページで確認いただくか、白浜町議会事務局までお問い合わせください。



開会中の議場の様子



自治功労者表彰
去る2月6日、全国町村議会議長会第66回定期総会において、南議員が議員として15年以上在職し、地方自治功労者として表彰されましたので、3月2日の第1回定例会冒頭で伝達式を行いました。

町議会・町議会議長の主な動き (1月1日～3月31日)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|-----------------------|---------------------|--------------|-----------|------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|---------------|----------------------|----------------|-------------|--------------|------------------------|-----------------|---------|------------------------|--------------|
| 17日 | 16日 | 15日 | 13日 | 10日 | 9日 | 5日 | 3日 | 2月1日 | 28日 | 26日 | 21日 | 20日 | 14日 | 13日 | 7日 | 6日 | 5日 | 1月4日 | |
| 議会運営委員会 | 議会定例会 紀南地方老人福祉施設組合 | 式典 南紀州交流公社10周年記念 | 富田川治水組合議会定例会 | 議会運営委員会 | 後期高齢者医療広域連合議会定例会 | 富田川衛生施設組合議会定例会 | 富田川治水組合議会行政視察 (広島) | 白浜はまゆう病院開院20年記念式典 | 議会行政視察 (鹿児島) | 田辺周辺広域市町村圏組合 | 総務文教厚生常任委員会 全員協議会 | 第1回臨時会 | 県町村議会議長会理事会 | 議会広報特別委員会 | 議会運営委員会 (大阪・名古屋・東京) | 新年挨拶まわり | 交通安全念頭式 | 消防出初式 | 成人式 新年祝賀会 |
| 24日 | 22日 | 19日 | 18日 | 17日 | 16日 | 13日 | 12日 | 11日 | 2日 | 3月1日 | 26日 | 25日 | 24日 | 23日 | 19日 | 18日 | | | |
| 公立紀南病院組合議会定例会 | 議員懇談会 第4回定例会(第5日) | 全員協議会 | 議会運営委員会 | 予算審査特別委員会 | 予算審査特別委員会 | 議会運営委員会 第1回定例会(第4日) | 議員懇談会 第1回定例会(第3日) | 議会運営委員会 第1回定例会(第2日) | 全員協議会 第1回定例会(第1日) | 白浜町スポーツ奨励賞表彰式 | 都市計画審議会 | 大辺路衛生施設組合議会定例会 | 議会定例会 | 田辺周辺広域市町村圏組合 | 議会運営委員会 | 紀南環境広域施設組合議会定例会 | 議員懇談会 | 公立紀南病院組合議会定例会 全員協議会 | |

編集後記

当初予算は継続する課題や新たな施策、国体の実施等で過去最大、総額127億9千100万円の予算編成となりました。

予算審査特別委員会では各委員より積極的な意見が出され、委員長報告のとおり可決しました。

また昨年末に閣議決定された地方創生事業についても具体的な施策が提案され、可決したところです。

議会としても町民の皆さんの安全・安心な暮らしに向けての取り組みを行ってまいりたいと考えます。

さて、白浜温泉はまもなく夏の観光シーズンを迎え、また、紀の国わかやま国体も今秋に開催されます。心のこもったおもてなしで多くのお客様を迎えらるとともに、新たな集客に向けたまちづくりを努めてまいります。

議会広報特別委員会

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 辻 成紀 |
| 副委員長 | 古久保 恵三 |
| 委員 | 堀 匠 |
| 委員 | 水上 久美子 |
| 委員 | 楠本 隆典 |
| 委員 | 廣畑 敏雄 |